

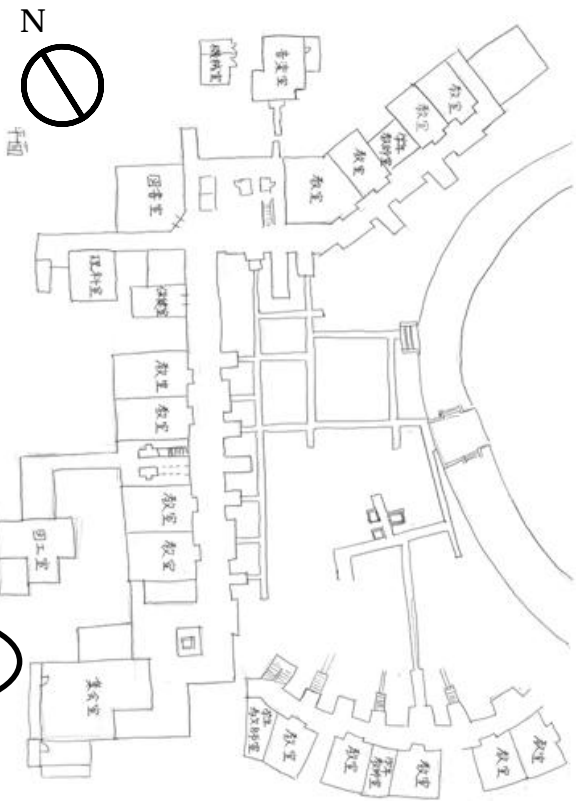
笠原小学校

ものづくり大学 建設学科1年

針生直樹、瀬尾真

はだし教育を前提に、1981年4月1日に設立された。

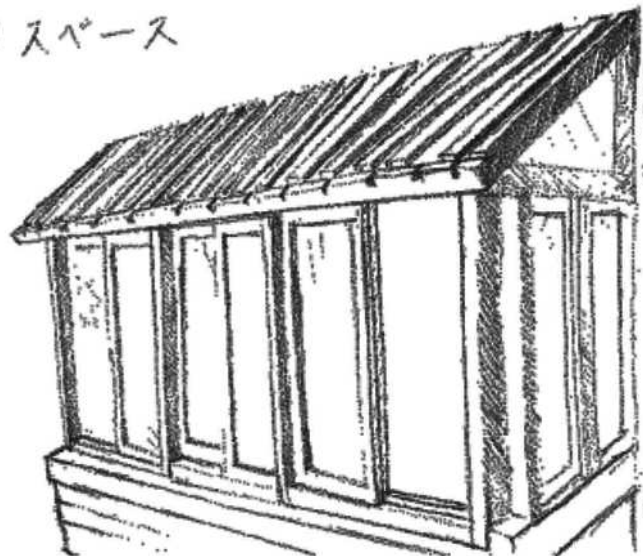
登下校時やサッカーなどをするとき以外は、児童ははだしである。



Haitizu

広い敷地に建てられた校舎はコの字型で、校庭に行きやすくなっている。遊具の少ない校庭は、児童が工夫して遊べるように設計されたものである。

汽車スペース



汽車スペース

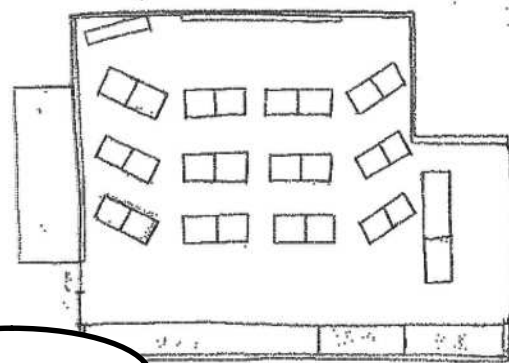
廊下側に設けられた汽車スペースは、子ども達が自由に使っている。



外観パース

鉄筋コンクリート造の2階建て。瓦屋根で壁面は赤く、神社のような雰囲気になっている。設立から30年以上経っているが、目立った破損箇所はない。作り直しのきかないものが多いので、大事に使われている。

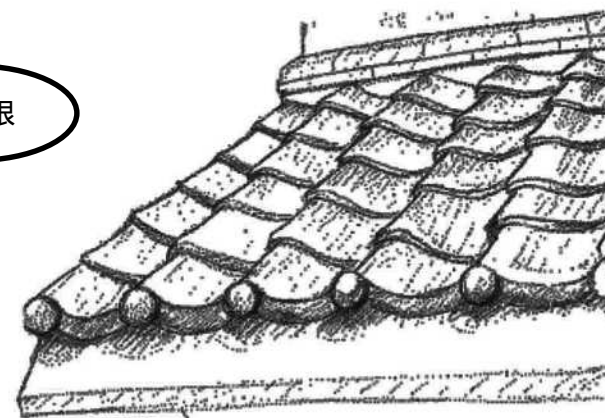
笠原小学校 4階学年教室 階平面図



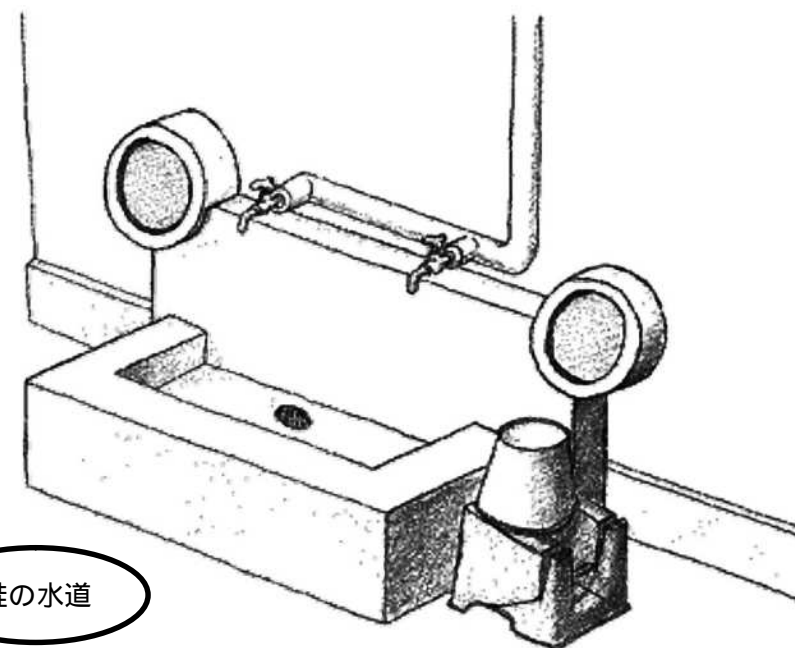
教室平面図

L字型の教室には、水道や汽車スペース、大きな窓などの特徴的な設計がされている。

瓦屋根

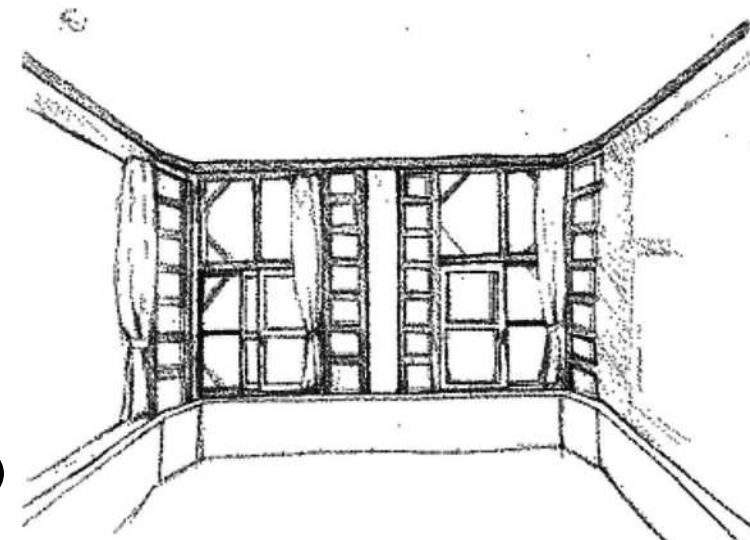


鉄筋コンクリート造にはあまり見られない瓦屋根だが、赤い壁面とよく合っている。



蛙の水道

はだしで外に出たあとに足を洗うため、水道は大きく作られている。



教室窓

細かい装飾がほどこされている大開口の窓は、教室にたくさんの光を入れて明るくしてくれる。